

教科別授業改善推進プラン（生活科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・季節ごとにかいた観察カードを比較することで、植物の成長の変化に気付くことができた。
- ・自分の気付きや考えをもち、友達に伝えたり、文章に書いて表現したりすることができるようになってきた。

(2) 課題

- ・自分の考えや思いを表現する力に関して個人差が大きい。
- ・植物の変化や身近な人々との関わりについて、直接的な経験や体験が少ない。

2 重点課題

| | |
|----|--|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none">・身近な自然に関心をもち、季節ごとの特徴に気付いたり、働きかけて楽しんだりすること。・身近な人々との関わりに気付き、自分の役割について考えること。 |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none">・動植物を観察する際に、成長の変化に気付き、自分の考えや思いをもつこと。・課題意識をもって活動し、気付きや考えをもち、表現すること。 |

3 授業改善策

| | |
|-----------|--|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none">・身近な自然を観察したり、活用して楽しんだりする活動を行う。児童のつぶやきから気付きを取り上げ、全体に広げていく。・自分たちの生活を支えている人たちの姿に目を向けさせ、思いに気付かせるとともに、自分たちにできることを考えさせていく。・活動後の振り返りの時間を充実させ、自分たちの活動の価値に気付くことができるようにする。 |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none">・動植物を観察する視点を視覚的に示す。・対話やペアトークを通じて全体で共有し変化への気付きを促す。・ねらいを明確に示す。児童一人一人に声を掛け、気付きや思いを引き出し、表現するよう的確な助言をする。 |
| 二学年 共通 | <ul style="list-style-type: none">・自然のよさや変化に気付くことができるようにする。・自然を活かした楽しみ方を話し合い、取り組む。・実物に触れる機会を多く設ける。 |